

文芸専門部

専門部委員長 奥 真理子 〈会津学鳳高等学校〉

県内では約200名の高校生が文芸部に所属し、日々活動を行っています。県文芸専門部では例年県総文祭文芸部門大会、県文芸研修会、地区文芸研修会などの行事を行っていますが、今年度は北海道・東北文芸大会が本県開催であったため、すべてを兼ねて10月に会津若松市で実施しました。参加者が県内外からの生徒・顧問合わせて348名とこれまでにない規模になりましたが、協力して仕事を進め、実りある大会とすることができました。また、県文芸コンクールを開催し、上位入賞者を全国総文祭の各部門へ派遣しました。

今年度の県高校文芸コンクールは、応募人数、応募作品数ともに増えましたが、詩、短歌、俳句部門に最優秀が出なかったのは残念でした。全国コンクールにおいては、磐城高校文学部が今年度も部誌部門で優秀賞を受賞しました。

今年度の主な活動内容は以下の通りです。

1. 第16回福島県高等学校文芸コンクール入賞者

・散文部門（小説）

最優秀賞	橘	佐野 帆香
優秀賞	東日本昌平	金成 美咲
優秀賞	東日本昌平	渡邊 愛
優良賞	安積	小椋 友貴
優良賞	福島西	渡邊 匠

・詩部門

優秀賞	平商業	岡安 彩花
優秀賞	白河旭	柳沼 諒
優良賞	白河旭	佐藤 綾音
優良賞	安積黎明	鈴木 彩花
優良賞	磐城	小野和佳子

・短歌部門

優秀賞	磐城	小野和佳子
優秀賞	会津学鳳	上野 早智
優良賞	白河旭	真船 衣鈴

優良賞	安積黎明	鈴木 沙菜
優良賞	安積黎明	伊藤 結己

・俳句部門

優秀賞	須賀川桐陽	小磯 桜雪
優秀賞	福島西	齋藤 朋華
優秀賞	須賀川桐陽	大槻 千明
優良賞	磐城桜が丘	草野 真央
優良賞	須賀川桐陽	奥山 雄牙

・文芸部誌

最優秀賞	磐城桜が丘	「関伽井」
優秀賞	磐城	「磐高文学」
優秀賞	橘	「木立」
優良賞	東日本昌平	「閃光」
優良賞	安積	「Nocturne」

- ・県内14校から154人384作品の応募がありました。

2. 第33回全国高等学校文芸コンクール入賞者

・文芸部誌部門

優秀賞	磐城	「磐高文学」第75号
-----	----	------------

3. 第20回全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会（福島大会）ならびに第16回福島県高等学校総合文化祭文芸部門大会

- ・期 日：10月25～26日

- ・会 場：會津風雅堂

東山グランドホテル

（福島県会津若松市）

・分科会講師

散文	作家	松村 栄子 氏
詩	詩人	齋藤 貢 氏
短歌	歌人	駒田 晶子 氏
俳句	俳人	永瀬 十悟 氏
文芸部誌		

東北芸術工科大学講師
野上 勇人 氏

・記念講演会

演題「言葉の不思議」

歌人 穂村 弘 氏

・文学研修：鶴ヶ城、飯盛山

・県内17校から1、2年生を中心に111名、県外からは53校から165名が参加しました。引率者との合計参加者数は348名です。

4. 第42回全国高等学校総合文化祭文芸部門大会
(信州大会)

・期 日：8月7～8月11日

・会 場：佐久平交流センター
佐久大学
(長野県佐久市)

・散文、短歌、俳句、文芸部誌の各部門に県の代表が1名ずつ参加しました。



会場入口



受付



開会式



散文



詩



短歌



俳句



文学研修

自然科学専門部

専門部委員長 山口 伝 〈会津学鳳高等学校〉

福島県自然科学専門部は、発足して9年目を迎えました。本県における自然科学専門部登録者数は、今年度は約900名です。また、福島県高等学校生徒理科学研究発表会への参加者数も300名を超え、発表内容も高校生らしい独創性に富んだものが多く見られました。さらに、ながの総文をはじめとした数々の大会でも優秀な研究発表が見られました。

1. 第36回福島県高等学校総合文化祭自然科学部門兼第30回福島県高等学校生徒理科学研究発表会

期 日：平成30年11月17日(土)・18日(日)

会 場：橘高等学校

日 程：1日目 講演会、開会式

2日目 研究発表会、閉会(表彰)式

参 加 校：21校

発表件数：100件

物理15件、化学19件、生物21件、地学11件、ポスター34件

参加生徒：346名

引率教員：50名

・講演会

「はやぶさ／はやぶさ2と会津大学」

会津大学 コンピュータ理工学部

教授 出村 裕英 氏

結 果

・最優秀賞

【物 理】福島高校 SS部「プラズマによる流体制御の研究」

【化 学】安積黎明高校 化学部「ソバ殻による金属イオン吸着のメカニズム」

【生 物】安積高校 生物部「ワイルドイーストの探査」

【地 学】安積黎明高校 地学部「リムストーンの謎を追う！」

【ポスター】福島高校 SS部「プラズマによる流体制御の研究」

以上の他に、口頭発表の生物部門において、優秀賞の磐城高校化学部「フライアッシュの表面構造と成分分析」(物理部門に出場)を加えた団体を来年度の全国高総文祭自然科学部門に推薦いたします。

(福島高校SS部はポスター発表部門に推薦されます。)

本年度は、県北支部を主管として実施されました。



福島県生徒理科学研究発表会の様子

2. 第4回福島県高等学校理科研究活動講習会

主に研究活動を始めようとする生徒、指導に携わる教員を対象に、①研究活動を進めるにあたっての基本的な科学的実践力の育成、②授業等で実施する機会が少ない実験・観察や先端科学技術に触れることで、自然科学に対する興味・関心の幅を広げる、③指導に携わる教員の指導力の向上を目的に実施しました。

期 日：平成30年4月30日(月)

場 所：安積黎明高校・郡山市勤労福祉会館

参 加 者：教員27名 生徒210名 計237名

内 容

・全体講義

東京工業大学生命理工学院生命理工学系

准教授 田川 陽一 氏

• 分 科 会

①物理研究活動実験講座

東北大学 教授 山本 均 氏

②化学研究活動実験講座

宮城教育大学 教授 猿渡 英之 氏

③生物研究活動実験講座

帝京大学 教授 梶谷 正行 氏

④地学研究活動実験講座

東北大学 准教授 岡田 知己 氏



相双支部研究発表会の様子

3. 支部の活動

• 支部研究発表会

支部研究発表会は、県生徒理科研究発表会の予選会としては位置づけられておらず、あくまで独立したものとして、各支部で実施されています。

支部	日 時	会 場	参加者数
県 北	10月7日	福島西高校	137名
県 南	10月30日	郡山市中央公民館	159名
会 津	11月12日	会津学鳳高校	86名
いわき	10月26日	磐城桜が丘高校	65名
相 双	11月7日	原町高校	31名

昨年度から相双地区でも開催することができるようになりました。来年度も県内5支部で研究発表会を開催する予定になっています。



会津支部研究発表会の様子

• 支部研修会

支部研修会は、県南支部において実施することができました。

支部	日時	会 場	参加者数
県 南	10月30日	郡山市中央公民館	155名

農業専門部

専門部委員長 小野 浩嗣 〈福島明成高等学校〉

農業専門部は、福島県内の農業の各分野について学ぶ12の高校、2,890名の生徒によって組織されています。福島県学校農業クラブ連盟の活動とともに、各学校が単位クラブを組織して、学校や地域の特徴を生かしながら独自に農業技術の習得や研究、交流活動を主体的に推し進めるなかで、活動の三大目標である「科学性」・「社会性」・「指導性」を高めるため日々活動に取り組んでいます。

(1) 各種技術競技大会

農業専門部では、教科の学習や農業クラブ活動を通して得た知識や技術を競い合いながら、農業に関する職業的な能力を高めるため、4つの競技大会を開催しています。今年度は、6月20日の家畜審査競技会を皮切りに、各種技術競技大会が県北地区で行われ、福島明成高校、安達東高校による運営のもと開かれました。

家畜審査競技会は、「肉用牛の部（黒毛和種）」と「乳用牛の部（ホルスタイン種）」において家畜の良否を審査するもので、毎年、福島県農業総合センター畜産研究所の協力を得て行われています。69名が参加し、今年度は「肉用牛の部」において、鹿児島県で行われる全国大会の代表者を決める大会でもありました。

農業鑑定競技会は農業・園芸・畜産・食品・農業土木・造園の6分野が設けられ、展示された実物体の品名・用途・特性などから、鑑定・計算・測定に関する知識が問われるもので、7月31日、8月1日に121名が日頃の学習の成果を競い合いました。次年度、全国大会南東北大会として本県が農業鑑定競技会の会場となるので、全国大会方式での運営となり、いつもと違った緊張感のある雰囲気での大会となりました。

平板測量競技会は測量技術の成果を発表し、その実力を競い合いながら職業的な能力を高める

ことを目的としています。競技は測量技術の正確さや早さ、図面の精度を競います。県建設業協会と測量設計業協会の後援を頂き、今年度は7月3日、4日に12チーム、38名で競技を行いました。

農業情報処理競技会は、農業に関わるデータ処理技術を競い合います。毎年、上位大会でもある東北連盟大会でも優秀賞に入るなど着実に力を付けており、今年度は、7月3日、4日に行い16名の参加がありました。

○平成30年度福島県学校農業クラブ連盟
技術競技大会
【家畜審査競技】最優秀



農業鑑定競技最優秀生徒



家畜審査競技

肉用牛の部 芥川 拓巳（白河実業）
乳用牛の部 山内 隼人（耶麻農業）

【農業鑑定競技】最優秀

分野 農 業 佐藤 和真（耶麻農業）
分野 園 芸 佐藤 雅彦（福島明成）
分野 畜 産 渡邊 ゆき（福島明成）
分野 食 品 佐藤 琢真（福島明成）
分野 農業土木 菅野 未菜（福島明成）
分野 造 園 渡部 和音（磐城農業）

【平板測量競技】

最 優 秀 相馬農業高校 Aチーム
優秀一席 相馬農業高校 Bチーム

【農業情報処理競技】

最 優 秀 歌川 翔大（会津農林）
優秀一席 深谷 龍登（修 明）

(2) 意見研究発表大会

6月13日、14日の2日間にわたって、相馬農業高校による運営のもと、サンライフ南相馬・南相馬市労働福祉会館にて大会が開かれました。

この発表大会では、Ⅰ類「生産・流通・経営」Ⅱ類「開発・保全・創造」Ⅲ類「ヒューマンサービス」の3分野に分かれて自らの意見に基づいて発表する「意見発表会」と研究活動の成果を発表する「プロジェクト発表会」、さらに各単位クラブにおける農業クラブ活動の取り組みをテーマに沿って発表する「クラブ活動紹介発表」の7分野にわたり、クラブ員生徒160名が熱のこもった発表を行いました。

○平成30年度福島県学校農業クラブ連盟
意見研究発表大会

【意見発表】最優秀

分野Ⅰ類 生産・流通・経営
和牛にかける私の夢

岩瀬農業 渡邊 佑太

分野Ⅱ類 開発・保全・創造
ぶどうに込める思い

福島明成 酒井 真梨

分野Ⅲ類 ヒューマンサービス
26代目の夢

岩瀬農業 渡邊 優翔

【研究発表】最優秀

分野Ⅰ類 生産・流通・経営
会津伝統野菜のブランド化を目指して！
～会農生の力で地域の宝物を世界へ～

会津農林 宗像 千春 他7名

分野Ⅱ類 開発・保全・創造
笑顔あふれる未来を目指して
「油菜ちゃんドレッシング」

～地域ブランド油を使った新たな商品開発～
相馬農業 館内 茜 他4名

分野Ⅲ類 ヒューマンサービス
ハマナス香る故郷を目指して！
～地域資源としての歩みと情報発信～

相馬農業 寺島 香菜 他6名

【クラブ活動紹介】最優秀

Bee Happy！

～安達東高校から元気のプレゼント～
農業クラブ員が現在抱えている農業に関する課題を意識し、その解決のために各都道府県連盟やブロック連盟が協力してできることはどんなことがあるか。

安達東 加藤 奈緒 他3名

(3) 夏期研修会

今年度の夏期研修会は、8月2日、3日の2日間、「国立磐梯青少年交流の家」において、県内の単位クラブ12校、53名が集結し開催されました。6つのテーマで分科会を開き、単位クラブの活動状況の報告や情報交換を行うとともに単位クラブが抱える問題点を話し合い、議論した内容を全体会で発表しました。また、キャンプファイヤーなどのレクリエーションやアイスブレイク研修、猪苗代町の自然観察体験を通して交流を深めました。クラブ員にとって貴重な交流活動の場になりました。



夏期研修会開会



分科会



発表会



玄関にて

(4) 東北連盟大会

今年度の第69回日本学校農業クラブ東北連盟大会は山形県、宮城県の2県で開催されました。これは、次年度の全国大会南東北大会を念頭にリハーサルを兼ねた大会となり、全国大会を意識した運営で行われました。意見発表会は宮城県農業高校、プロジェクト発表会は名取市文化会館、大会式典、クラブ活動紹介発表会は鶴岡市中央公民館、平板測量競技会は山形県総合運動公園、農業情報処理競技会は山形県立庄内農業高校と広範囲にわたる地域での開催となりました。意見発表会では、分野Ⅱ類で福島明成高校の酒井真理さんが最優秀を受賞し、東北ブロック代表として鹿児島県で行われる全国大会へ進みました。他の競技もあと一步というところでしたが、レベルの向上がうかがえる内容のものでした。上位大会で最優秀をとることは一筋縄ではいかないものですが、次年度以降期待できる内容であったと思います。

○第69回日本学校農業クラブ東北連盟

平成30年度山形・宮城大会

◇期日：8月23日(木)・24日(金)

◇会場：鶴岡市中央公民館、庄内農業高校
山形県総合運動公園、宮城県農業高校
名取市文化センター

【意見発表会】

最優秀

分野Ⅱ類 開発・保全・創造

福島明成 酒井 真梨

分野Ⅲ類 ヒューマンサービス

岩瀬農業 渡邊 優翔

優 秀

分野Ⅰ類 生産・流通・経営

岩瀬農業 渡邊 佑太

【プロジェクト発表会】

優 秀

分野Ⅰ類 生産・流通・経営

会津農林 瓜生友莉愛 他9名
分野Ⅱ類 開発・保全・創造

相馬農業 館内 茜 他4名
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス

相馬農業 寺島 香菜 他5名

【クラブ活動紹介発表会】

優 秀 安達東 菅澤 梨香 他3名



東北連盟大会閉会式

(5) 全国大会

第69回日本学校農業クラブ全国大会は、鹿児島県で行われました。本県からは「意見発表会」・「農業鑑定競技会」・「平板測量競技会」・「家畜審査競技会」に出場し、さらに次年度の南東北大会の競技視察を兼ねて例年より多くのクラブ員が参加しました。本大会では、際立った成績を残せませんでしたが、各選手、この日のために、それぞれの学校で良いパフォーマンスをするため努力してきました。この貴重な経験を後輩に受け継いで欲しいと願うとともに、本県

の学校農業クラブ活動の底上げにつながればと思います。

次年度はいよいよ第70回日本学校農業クラブ連盟全国大会南東北大会が3県合同（山形・宮城・福島）で開催されます。今まで大会等でお世話になった方々のためにも、福島県に来てよかったと思えるような記憶に残る大会にしたいと思います。

○第69回日本学校農業クラブ全国大会

平成30年度鹿児島大会

◇期日：10月23日(火)～25日(木)

◇会場：鹿児島アリーナ

宮之城文化センター

伊佐市広域総合運動公園

加世田常潤高校

肝属中央家畜市場

【意見発表会】

優 秀

分野Ⅱ類 開発・保全・創造

福島明成 酒井 真梨

【農業鑑定競技】

優 秀

分野 農 業 岩瀬農業 関根 大真

分野 園 芸 会津農林 阿部 大知

分野 食 品 福島明成 佐藤 琢真

分野 〃 磐城農業 飯村みくに

工業専門部

専門部委員長 渡部 鉄仁 〈郡山北工業高等学校〉

当専門部は、工業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、めまぐるしい技術革新に対応できる能力と態度を身につけ「ものづくり」のできる「スペシャリストの育成」を目指し日々学習に取り組んでいます。日頃の学習成果の発表並びに交流を図る場として『ロボット競技大会』『コンピュータアイデアコンテスト』等を実施しています。その他今年度も、東北大会や全国大会での活躍がありました。以下に、平成30年度の各種大会の活動記録と成果を報告します。

1. 第25回福島県高等学校ロボット競技大会

- (1) 期 日：平成30年9月11日(火)
- (2) 会 場：福島県立福島工業高等学校
- (3) 競技内容

自作のロボットを操縦し、制限時間内にコース内の物を運んだり積み上げたりする技能を競う。

- (4) 出 場 数：11校
- (5) 出場台数：24台
- (6) 大会結果：

(上位5チームが全国大会出場)

優 勝 陸王

(清陵情報高等学校) 第1代表

準優勝 オリオンズ

(塙工業高等学校) 第2代表

第3位 へいこう設計部

(平工業高等学校) 第3代表

○福島県電子機械工業会長賞

トライドロン&シャウ

(清陵情報高等学校) 第4代表

Mr. (清陵情報高等学校)

北命鳴

(郡山北工業高等学校) 第5代表

北勇伝 (郡山北工業高等学校)

2. 第26回全国高等学校ロボット競技大会山口大会

- (1) 期 日：平成30年10月20日(土)
～21日(日)
- (2) 会 場：山口県 キリンビバレッジ周南
総合スポーツセンター
- (3) 大会結果：
オリオンズ
(塙工業高等学校) 準々決勝敗退
陸王 (清陵情報高等学校) 予選敗退
へいこう設計部
(平工業高等学校) 予選敗退
NPC & KFC
(清陵情報高等学校) 予選敗退
北命鳴 (郡山北工業高等学校) 予選敗退

3. 第27回コンピュータアイデアコンテスト

- (1) 期 日：平成30年11月9日(金)
- (2) 会 場：福島県立平工業高等学校
- (3) 競技内容：
〈マイコンラリー (MCR) 競技〉
ジャパンマイコンラリー全国大会のルールに従い、MCR コースを走行し、スタートからゴールまでの速さを競う。
(a) ジャパン・マイコンラリー福島大会
BASIC CLASS 部門
①出 場 校：9校
②出場台数：39台
③成 績：
(上位2チームが全国大会出場)
第1位 「剣」 (福島工業高等学校)
第2位 アフロバディ
(喜多方桐桜高等学校)
第3位 久保の力
(勿来工業高等学校)
第3位 アクアフィフテル

(郡山北工業高等学校)

(b) ジャパン・マイコンラリー福島大会

ADVANCED CLASS 部門

①出 場 校：3校

②出場台数：13台

③成 績：

(上位2チームが全国大会出場)

第1位 ティル (勿来工業高等学校)

第2位 ゼロ (勿来工業高等学校)

第3位 しらす (勿来工業高等学校)

第3位 天照 (勿来工業高等学校)

〈アイデアコンテスト部門〉

課題研究等でパソコンを利用して作成した作品(実習報告書、CG、CAD、新聞、音楽、ホームページ、自作プログラム、その他)を展示・実演し、優れた作品を表彰して奨励する。

①出 品 数：19点

②成 績：

最優秀賞 GO!GO! ゴーカート

(会津工業高等学校)

最優秀賞 課題研究作品

(小高産業技術高等学校)

最優秀賞 熱中症アラート

(平工業高等学校)

4. 高校生ロボット相撲大会2018北海道・東北大会

(1) 期 日：平成30年9月9日(日)

(2) 会 場：日本大学工学部体育館

(3) 競技内容：参加者が自立したロボット力士を技術とアイデアで戦わせる競技。土俵上に2台のロボットを置き、どちらかのロボットを土俵外に押し出すことで勝敗を決める。

(4) 出 場 数：28台(自立型)34台(ラジコン型)

(5) 大会結果：(上位2チームが全国大会出場)
自立型

第3位 八咫鳥 (白河実業高等学校)

ラジコン型

第4位 マドンナ (福島工業高等学校)

5. 第77回全日本学生児童発明くふう展全国大会

(1) 日 時：平成31年3月27日(水)～31日(日)

(2) 会 場：科学技術館

(3) 競技内容：

次代を担う青少年に創作する喜びと発明くふうの楽しさを体得させ、その優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人格形成をめざす。

(4) 成 績：

入選 COOLING ボックス

「活・LET'S・気ッ化」

(郡山北工業高等学校)

6. 第16回高校生技術アイデアコンテスト全国大会

(1) 期 日：平成31年1月22日(火)

(2) 主 催：(公社)全国工業高等学校長協会

(3) 競技内容：

工業高校生の専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な感覚を育てることを目的にした大会です。

(4) 成 績：

佳作 COOLING ボックス

「活・LET'S・気ッ化」

佳作 ソーラー発電エアポンプ

「そらぼん」

(郡山北工業高等学校)

商業専門部

専門部委員長 三浦 純〈福島商業高等学校〉

県高等学校文化連盟商業専門部は、会員校42校で構成され、平成30年度の各種競技大会の成績は次のとおりである。

〔珠算・電卓競技大会〕

全商珠算・電卓実務検定試験1級の内容を基準として実施され、乗算・除算・見取算30問（12分）、商品売買計算や単利・複利の計算等を行う応用計算15問（15分）で団体競技および個人総合競技を競う大会である。また、個人種目別競技として伝票算、応用計算、読上暗算（珠算のみ）、読上算の各種目を勝ち残りの方式で行う。

本年度6月に実施された珠算・電卓競技大会の結果は、珠算部門団体競技で郡山商業高校、同部門個人総合競技で箭内大輝（郡山商業高校）、電

卓部門団体競技で郡山商業高校、同部門個人総合競技で佐藤優花（郡山商業高校）が第1位となった。続く全国大会では、電卓部門で、佐藤優花（郡山商業高校）が個人総合2等、伝票算競技で、半澤桃香（郡山商業高校）が優勝した。

さらに、本年度9月に実施された県珠算・電卓新人競技大会では、珠算部門団体競技で郡山商業高校、同部門個人総合競技で箭内大輝（郡山商業高校）、電卓部門団体競技で郡山商業高校、同部門個人総合競技で柳沼舞依（郡山商業高校）が第1位となった。続く東北大会では、珠算・電卓部門両部門団体競技で郡山商業高校が優勝した。



珠算部門団体 優勝 郡山商業高校



電卓部門団体 優勝 郡山商業高校



珠算・電卓部門団体 優勝 郡山商業高校

〔ワープロ競技大会〕

高校生のタイピング技術向上のために開催し、決められた文章を10分間でいかに速く正確にタイピングできるかを競う大会である。

本年度6月に開催された県大会では、団体で郡山商業高校が優勝し、個人では、山崎翼（郡山商業高校）が優勝し、全国大会に出場した。

さらに、10月に開催された新人戦県大会では、団体で福島南高校が優勝し、個人では、穴戸陸真（福島南高校）が優勝した。



ワープロ競技大会 優勝 郡山商業高校



ワープロ新人競技大会 優勝 福島南高校

〔簿記コンクール〕

商業教育の基礎的科目である簿記を第1部（45分）仕訳と帳簿・決算、2部（45分）計算と本支店・原価計算の問題で競う大会である。

本年度6月に行われた県大会では、団体で郡山商業高校、個人で別府乃愛（郡山商業高校）が優勝した。全国大会には、団体で郡山商業、若松商業高校、個人では、刃米結衣奈（喜多方桐桜高校）須田遥香（福島商業高校）が出場した。



簿記コンクール大会 優勝 郡山商業高校

〔情報処理競技大会〕

コンピュータの知識やアルゴリズムの能力を競

う大会である。全商情報処理検定試験1級や、国家試験レベルの内容で第1部（40分）は関連用語とデータベース、第2部（40分）は表計算とアルゴリズムである。

本年度6月に開催された県大会では、団体で福島商業高校A、個人で斉藤輝（福島商業高校）が優勝した。



情報処理競技大会 優勝 福島商業高校

〔英語スピーチコンテスト〕

商業科目を学ぶ上で英語は重要な科目である。このコンテストは、ABCDEの課題英文の中から、いずれか1つを選ぶレシテーションの部（3分）と、自分の創意によるものか、自分のもっとも関心のあることを日常的な英語で表現するスピーチの部（3分）に分かれている。

本年度のコンテストでは、レシテーション部門で塩谷夢（福島南高校）、スピーチの部では、安藤美空（若松商業高校）が最優秀賞となり、全国大会に出場した。



安藤美空さん（若松商業） 塩谷夢さん（福島南）

〔活動優秀校公演〕

12月とうほう・みんなの文化センターにて、物品販売を福島商業高校・郡山商業高校・喜多方

桐桜高校の生徒が販売実習をしました。

各学校の商品は、郡商牛そぼろ、郡商どらやき、いちごパイ（郡山商業高校）、ブルーベリーカレー・ブルーベリーかりんとう（修明高校）、手ぬぐい（喜多方の四季の花・喜多方ラーメン）（喜多方桐桜高校）、福笑あんぱ大福、福笑漬（福島商業高校）、のの字、みかん大福（ふたば未来学園高校）の商品を販売した。



活動優秀校公演 販売担当 喜多方桐桜高校



活動優秀校公演 販売担当 郡山商業高校



活動優秀校公演 販売担当 福島商業高校

[その他の大会]

- ・全国高等学校 IT 簿記選手権大会(東北ブロック)

IT 部門、団体で福島商業高校が3位、簿記部門、団体で福島商業高校が準優勝、若松商業高校が3位であった。

福島県高等学校総合文化祭 行事について

「第24回福島県高等学校生徒商業研究発表大会兼
第37回福島県高等学校総合文化祭商業部門」

- (1) 実施会場：郡山市立中央公民館
参加校数：6校 参加生徒数：58名
作品数：研究発表部門 5作品
作品展示部門 4作品

(2) 大会成績

〈研究発表部門〉

最優秀校は、「売れる商品の開発と販売活動」（郡山商業高校）、優秀校は、「喜多方 蔵のまち研究 ～旧甲斐家蔵住宅を蔵のまちのシンボルに！～」(喜多方桐桜高校)となり、2校が東北大会に出場した。

〈作品展示部門〉

最優秀校に「郡商ブランド商品の開発」（郡山商業高校）が選出された。

(3) 大会概況

商業に関する教科科目を学ぶ生徒が、商業に関する研究、課題研究科目、商業クラブ・部活動など体験学習や実習を通して、研究テーマを設定し学習内容を踏まえて、研究発表部門、作品展示部門の2つに分かれて発表を行う大会である。



生徒商業研究発表大会 優勝 郡山商業高校



準優勝 喜多方桐桜高校

家庭専門部

専門部委員長 鈴木美加子 〈湯本高等学校〉

家庭専門部では、福島県高等学校学校家庭クラブ連盟に加盟しているそれぞれ学校が実態に合わせ、独自の活動を展開してします。

平成30年度の加盟校数は県内41校、加盟生徒数は10,550名でした。(前年度比較 1校 953人の減)

各加盟校で行われている学校家庭クラブ活動や生徒の個人研究であるホームプロジェクトの成果を発表し合う研究発表大会を主軸とし、総会や指導者養成講座などで研修や交流を深めています。

研究発表大会では地区大会、県大会を最優秀で突破した研究が東北ブロック大会、全国大会と駒を進めています。

福島県は平成21年度から8年連続全国大会出場を果たし、全国1位～3位までに必ず入賞する強豪県です。

県大会のレベルは非常に高く、他県から関心も大変高く、観覧された方からため息が聞かれる程です。

研究発表の他にも、各校で家庭科の授業で学んだことを活かし、家族や地域の貢献(地域創生)のために高校生の立場からできる活動を工夫して行っています。地域からの期待が大きく、メディアに取り上げられる活動も多くありました。

これらの活動は家庭科教育の充実と長い時間をかけて育まれてきた家庭クラブ活動の継承の賜物です。

「創造」・「勤労」・「愛情」・「奉仕」の学校家庭クラブの基本精神の下に、「気づき」を起点とし、「思いやり」を原動力に、試行錯誤を繰り返しながら地域に笑顔の輪を広げる活動を地道に一つ一つ継続してきました。

探求心を養い、実践力を身につけることができる活動であり、人間性を高めることができると確信しています。

これまでご支援をいただいた地域、関係機関の方に感謝すると共に、今後も福島県高等学校家庭クラブ連盟の活動が充実・発展して参りますよう、

各校における家庭クラブ活動を継承し、また、新たな家庭クラブを模索していきたいと思います。今後とも御支援・御協力をよろしくお願いします。

以下に、家庭専門部の活動内容を掲載し、まとめとさせていただきます。

1. 福島県高等学校総合文化祭行事

第66回福島県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会

○期 日：平成30年10月19日

○会 場：いわき芸術文化交流館 アリオス小劇場

○参加者：21校・120名

○内 容：学校家庭クラブ活動の部 5校
ホームプロジェクトの部 4校

○大会結果

〈学校家庭クラブの部〉

㊦最優秀賞・県教育長賞・県高文連会長賞

Adorer カジ○

～かかわる ひろがる つながる～

福島県立湯本高等学校

㊦優秀賞

達校 ボランティア事情 安達高等学校

みんなに届けたい！小野町産物と発酵・米麴パワー

小野高等学校

Bridge of mind

～バリアフリー CITY 喜多方を目指して～

喜多方東高等学校

〈ホームプロジェクトの部〉

㊦最優秀賞・県教育長賞・県高文連会長賞

がんでも QOL！

耶麻農業高等学校 1年 鷗川 美涼

㊦優秀賞

我が家の猛暑対策

～祖父母の快適ライフをサポート～

平商業高等学校 2年 村中 希帆
祖父の笑顔を増やすために私ができること

相馬農業高等学校 2年 横山 珠李
長谷川家はひとつ！

～単身赴任の父と一緒にできること～

福島西高等学校 2年 長谷川七瀬
笑子おばあちゃんの痛みをやわらげたい！

～スマイルプロジェクト～

小野高等学校 1年 溝井絵理香



第66回福島県高等学校家庭クラブ連盟
研究発表大会表彰式

2. 福島県高文連研究関係行事

第66回福島県高等学校家庭クラブ連盟総会並び
に第57回指導者養成講座

○期 日：平成30年 8月17日

○会 場：郡山公会堂・郡山中央公民館

○参加者：県内加盟校38校・138名

○内 容：役員会・総会・各地区の活動報告・
大会参加報告・上位大会出場校発表。
生徒分科会・指導者養成講座



生徒分科会では、
「和結び」と「フラ
ワーセラピー」を制作
しました。フラワー
セラピーは東北大会



において、東日本大震災復興支援品として宮城県立
名取高等学校さんへ寄贈させて頂きました。

3. 福島県高文連地区関係行事

各地区高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会

○期 日：平成30年 9月14日～21日

○会 場：各地区

○内 容：下記に各地区の発表校数を記載

各地区の最優秀校が県大会に出場

最優秀賞校及び生徒は県大会結果に
記載

地区名	発 表 校 数
いわき	学校家庭クラブ(7) ホームプロジェクト(2)
会 津	学校家庭クラブ(2) ホームプロジェクト(4)
県 北	学校家庭クラブ(1) ホームプロジェクト(6)
県 南	学校家庭クラブ(1) ホームプロジェクト(1)
相 双	学校家庭クラブ(0) ホームプロジェクト(3)



各地区研究発表大会・総会・指導者養成講座の様子

4. 福島県高等学校総合文化祭行事のその後

両校福島県代表として、第66回東北ブロック高
等学校家庭クラブ連盟研究発表大会へ出場し、優
秀賞を受賞した。



東北大会発表の様子

定通専門部

専門部委員長 原 寛子 〈いわき翠の杜高等学校〉

定通専門部では「国際アート&デザイン大学校 高等課程」を加盟校としてお迎えし、県内の定時制・通信制高校8校9課程で今年度の活動をスタートしました。主な活動は、「定時制通信制生徒生活体験発表大会」の開催及び、生活体験発表大会記録集「生きがいある青春」の刊行です。

「定時制通信制生徒生活体験発表大会」は県内の各定時制通信制高校での地区大会から始まります。大会前は、学校生活の中で感じたこと、体験したこと、考えたことをどのようにして言葉にしようかと苦慮する生徒の皆さんの姿が各校で見られたのではないかと思います。そのような苦しみを乗り越え、代表として選ばれた生徒が郡山萌世高校で行われた県大会に出場しました。



県大会では、約400名の観客を前にして、学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表します。今年度は、高校生活の中で一生懸命取り組んだこと、考えたこと、震災の傷を抱えながらの高校生活、全日制からの転学、一度社会に出てからの高校入学などについて発表していただきました。

最優秀賞に選ばれたのは、遠藤えりかさん（いわき翠の杜高校・定1年）でした。遠藤さんは、ある舞台と出会い、学校へ行くきっかけや生きる気力をもらったこと、「役者になる」という目標を持ったことで自分の行動が変化していったこと、簡単に解決できない問題に遭遇することもあるけれども、諦めずに学校生活を送る自らの体験

を堂々とした態度で発表しました。遠藤さんは、福島県代表として11月に六本木ヒルズ・ハリウッドプラザで開催された全国大会に出場し、文部科学省初等中等教育局長賞を受賞しました。

また、通信制課程の大会として「東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会（東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会主催）」が開催され、安齋華苗さん（郡山萌世高・通4年）が参加しました。

生活体験発表大会記録集「生きがいある青春」には県大会参加者全員の原稿が収められています。記録集からは、生徒が周囲の人と良い人間関係を築き、一人一人が自分についてよく考え、困難に遭遇してもそれと向き合い、乗り越える様子を読み取ることができると思います。毎年3月に県内各高校に配付していますので、是非ご覧ください。

1. 第66回福島県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

- (1) 期 日：平成30年10月3日(水)
- (2) 会 場：福島県立郡山萌世高等学校
- (3) 発表者数：13名
- (4) 成 績：

①最優秀賞

- ・教育長賞 最優秀賞、高文連定通専門部
会長・高教研定通部会長賞 最優秀賞
遠藤えりか（郡山萌世高・定1年）
「今を生きる」



②優秀賞

- 教育長賞 優秀賞、高文連定通専門部会長・高教研定通部会長賞 優秀賞
石塚 美桜（郡山萌世高・通4年）
「今、思うこと」



野崎 莞那（郡山萌世高・定2年）
「夢中になれるもの」



③奨励賞

- 特別賞〔高文連会長賞〕、高文連定通専門部会長・高教研定通部会長賞 奨励賞
新妻萌々花（いわき翠の杜高・定1年）
「前を向く」



熊田 涼花（郡山萌世高・定3年）
「今からスタートライン」



2. 東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会

- (1) 期 日：平成30年10月13日(土)～14日(日)
- (2) 会 場：秋田県秋田市
秋田明德館高等学校
- (3) 出 場 者：
優 秀 賞
安齋 華苗（郡山萌世高・通4年）
「新しい環境で…」



3. 第66回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

- (1) 期 日：平成30年11月24日(土)
- (2) 会 場：六本木ヒルズ ハリウッドプラザ
- (3) 出場者及び成績：
文部科学省初等中等教育局長賞
遠藤 えりか（いわき翠の杜高・定1年）
「今を生きる」

4. 記録集「生きがいある青春」

- 刊行日：平成31年3月1日 発行数：500部



特別支援専門部

専門部委員長 土田 崇 〈大笹生支援学校〉

特別支援学校専門部は、「特別支援学校の文化活動の健全育成の向上発展を図ること」を目的に、県内17校、高等部生徒数957名が加盟しています。

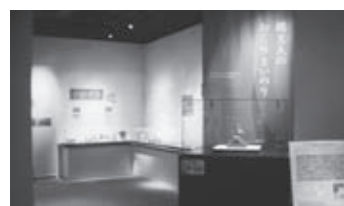
平成30年度の活動を報告致します。

1. 特別支援学校専門部実技講習会・研修会

平成30年8月2日(木)に、宮畑遺跡史跡公園(じょーもぴあ宮畑)で、行われました。参加校数は9校で、参加人数は教員17名でした。

活動内容は、縄文時代に宮畑で暮らしていた縄文人の暮らしの様子や、四季の移り変わり、まつりの様子などをわかりやすく展示してある学習施設(愛称:じょいもん)の見学と、じょーもぴあ案内人による解説・講演、火おこし、勾玉づくり、埴輪作り、アンギン編み、弓矢体験などの体験学習を行いました。

研修前半は、歴史・文化等の講習会で見識を深め、後半は、体験学習中心の楽しい内容の講習会を行い、有意義な講習会とすることができました。



2. 第32回特別支援学校作品展

平成30年11月19日(月)から11月22日(木)まで行われました。展示場所は、MAX ふくしま 4階のA・O・Zアオウゼ(大活動室1・2・3)でした。参加校数は、17校です。見学者は、下の通りで、全員合わせて、128名でした。朝10時の開始時から5時の終了時刻まで、多くの見学者がいらっしゃいました。今回は、展示のみで販売は行いませんでしたが、展示されている作品がどれも素晴らしいので、ぜひ、販売してほしいとの声もあり、大盛況でした。

	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)
計	21	44	45	18



3. 第37回福島県高等学校総合文化祭

平成30年12月16日(日)に、とうほう・みんなの文化センターで行われました。特別支援学校専門部としては、視覚支援学校が、昨年に引き続き、マッサージのデモンストレーションと、展示会のブースで、参加しました。今年度は、総文祭の公演会に平支援学校から2名の生徒が参加しました。



JRC 専門部

専門委員長 松本 仁子 〈福島東高等学校〉

1. 福島県高等学校青少年赤十字の活動について

青少年赤十字（Junior Red Cross 略して「JRC」）は、赤十字の精神に基づき、様々な活動を学校教育の中で展開しています。ボランティアのイメージが先行しますが、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ活動しています。具体的には「健康・安全」…救急法でAEDの知識や技術を身につけ、健康への意識を高めたり、災害図上訓練（DIG）や避難所運営ゲーム（HUG）を通して防災・減災に繋がっています。「奉仕」…献血呼びかけ、施設訪問の他、各地での深刻な災害に対し、各校、各地域で募金活動を速やかに進めています。「国際理解・親善」…紛争地域の現状を学んだり、1円玉募金を通して安全な水を供給することにより最貧国への支援をしています。また、世界191の国と地域に姉妹赤十字の組織があり、交流も盛んです。

これらの実践は「気づき」「考え」「実行する」という態度目標により主体的に行われています。そのため、問題を発見し、アイデアを実行に移すための「ワークショップ」（具体的な行動計画作り）を大切にしています。

また、今年度は「Hand in Hand ～歩んできた道 歩んで行く道～」の活動スローガンを掲

げ、未来に東日本大震災を伝えるために「歩んできた道」の過去を学び、震災で経験したことを未来へと繋げていけるように「歩んで行く道」にしっかりと目を向けて活動をしていこうと誓いました。

2. 平成30年度の主な活動について

(1) 福島県高等学校青少年赤十字連絡協議会春季総会並びに研修会

- ①日 時：平成30年6月1日（金）
- ②場 所：郡山市民文化センター
- ③参加数：参加校28校 生徒103名 指導者29名
- ④内 容：

平成29年度の行事報告・決算報告、平成30年度の行事予定・予算案、スローガンを審議、各地区の活動報告、研修会参加報告の他、講演会「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」と題して、元ラジオ福島アナウンサーの大和田新氏による熱い講話を頂きました。県役員は1ヶ月前に、原発事故により救助活動が思うようにできない苦悩を描いた浪江町消防団の紙芝居「無念」を見ており、今回の講演でも数字や記録には現れない震災の現状をさらに知ることができました。JRC



春季県総会県役員メンバーと講師の大和田氏

活動は「人道」を大切にしています。その対極（人道の敵といいます）が「無関心」です。「想像することでヒトゴトが自分の事となる」ことは震災に限らず人間として大切な事だと思いました。また、「被災地には、震災のできごとを伝える『被災地責任』がある」ことを胸に刻み、福島の高校生として震災を学んで行こうという意欲にもつながりました。

(2) 福島県高等学校青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター

①日 時：平成30年7月12日(木)～14日(土)

②場 所：国立磐梯青少年交流の家

③参加数：参加校32校 生徒45名 指導者22名

④内 容：

「赤十字・青少年赤十字概論」「人道法」で赤十字の精神を理解し、自主的で自律した態度を身につけるために「リーダーシップのとり方」を学びます。また「救急法」「リラク

ゼーション」などの技術を学びます。それらを「フィールドワーク」では実践的に活用し、自分で問題点を見つけ出し、解決して行く方法をさぐる「ワークショップ」へと繋げていきます。すべてのプログラムに指示はなく、「掲示板」を利用しながら「先見」を行い「注意深い生活」をしていくことが大切になります。

(3) 平成30年度福島県高等学校青少年赤十字第51回県大会並びに秋季総会

①日 時：平成30年11月17日(土)～18日(日)

②場 所：新舞子ハイツ

③参加数：参加校19校 生徒数53名 指導者数28名（県外参加者 生徒30名 指導者12名）

④内 容：

原発事故の様子などを展示したコミュニティ館の見学からはじまり、バスで「よつくら



TC 集合写真



TCフィールドワーク



TC グループワーク

港」「薄磯海岸」「豊間防災公園」の被災地を巡り、語り部さんのお話を聞きました。「ワンダーファーム視察」「永崎団地での交流会」のコース別研修の後、ライブいわきミュウじあむで震災当時の写真や映像を見て「忘れないこと 忘れられないこと 忘れてはいけないこと」を知る事ができました。他県からも多くの生徒が参加し、意見交換会では震災の様子を説明する県メンバーに積極的に質問する様子が多く見られました。福島県の生徒からの「今回のことを多くの人に正しく伝えて欲しい」との要望に「“福島”をイメージではなく、自分の目で今の福島を知ることが大切だという行動を起こして行く」との決意を述べてくれました。

震災を学ぶ事でこれからの防災・減災に繋

げるとともに、再生可能エネルギーの開発、食の安全に対する取り組みといった災害からの復興の取り組みについて考える機会となりました。

県大会「青少年赤十字活動発表大会」受賞校

最優秀賞 松韻学園福島高等学校 10代の献血

優秀賞 あさか開成高等学校

あさか開成 Spirits

～ JRC 委員会の取り組み～

優秀賞 磐城第一高等学校

いつかの君へ……。

優良賞 平支援学校

障がい者目線のボランティア

優良賞 福島成蹊高等学校

MS & キッズケア



県大会 アフガニスタンメンバーと



県大会 ワンダーファーム見学



県大会 意見交換会